



# 出張プライベートショーin広島のご報告

6月7日、8日の2日間にわたり、広島(中国地方)で初となる当社プライベートショーを開催いたしました。新機種2製品を含む計8台の工作機械を取り揃え、協賛メーカーも9社ご参加いただきました。2日間で延べ250人もの来場者様にご覧いただき、大盛況の内に閉幕いたしました。今回の催しにより、大いに製品アピールにつながりましたので、引き続き広島地区におきましても販路拡大に努めてまいります。



## 創業70周年記念プライベートショー 開催

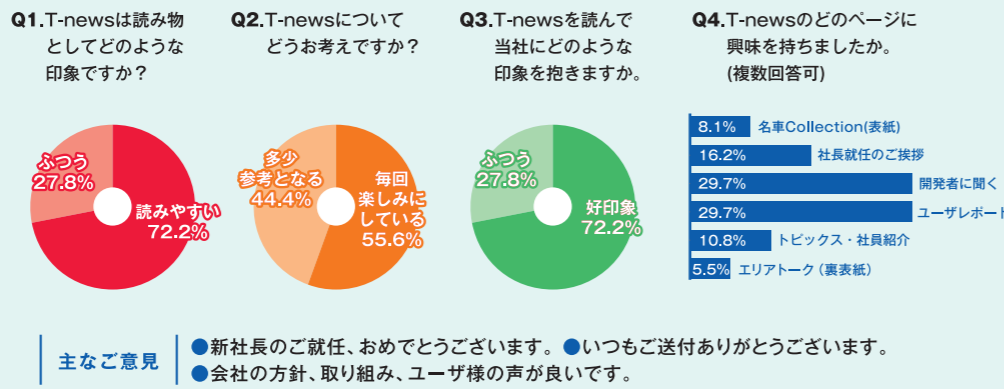
9月20日、21日の2日間にわたり、石川県産業展示館4号館におきまして創業70周年記念プライベートショーを開催いたします。初お披露目となる新機種を含め、これまでにない規模の工作機械を取り揃え、ユーザーニーズに合わせた多種多様な設備をご提案させていただきます。詳細は最寄りの当社営業所までお問い合わせください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



開催日時:2018年9月20日(木)、9月21日(金) 10:00~17:00  
会場:石川県産業展示館 4号館



前号に同封したアンケートに、多くのご回答をいただきありがとうございます。今後も皆さまから寄せられた声を反映し、より親しんでいただける紙面づくりを心がけてまいります。



# TAKAMAZ 高松機械工業株式会社

本社・工場 〒924-8558 石川県白山市旭丘1-8  
サービス受付専用ダイヤル  
部品受付専用ダイヤル  
TEL (076)274-0123 FAX (076)274-8530  
TEL (076)274-1400 FAX (076)274-8530  
TEL (076)274-1407 FAX (076)274-1454

第2・3工場 〒924-0004 石川県白山市旭丘2-18  
TEL (076)274-1443 FAX (076)274-3170

開発センター 〒924-0838 石川県白山市八束穂3-3  
TEL (076)274-1442 FAX (076)274-1345

関東支店 〒360-0042 埼玉県熊谷市本町2丁目48番地(熊谷第一生命ビル1F)  
TEL (048)521-8771 FAX (048)520-2189

大阪支店 〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮南1-5-28(新大塚テラス3ビル2F)  
TEL (06)6395-3252 FAX (06)6398-2430

名古屋支店 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋2-1-12(橋AKビル2F)  
TEL (052)332-6801 FAX (052)332-6303

浜松営業所 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央3-15-1(EKビル6-D)  
TEL (053)456-2530 FAX (053)456-2531

厚木営業所 〒243-0014 神奈川県厚木市旭町4-1-2(善和ビル202)  
TEL (046)230-0541 FAX (046)230-0542

東北営業所 〒981-1217 宮城県名取市美田園5丁目4-1(アルモニーパル101号室)  
TEL (022)784-1882 FAX (022)784-1883

北信越営業所 〒924-8558 石川県白山市旭丘1-8  
TEL (076)274-1405 FAX (076)274-8530

信越駐在所 〒955-0092 新潟県三条市須崎2丁目13番地(パークハイブ須崎102号室)  
TEL (0256)36-5560 FAX (0256)36-5567

広島営業所 〒732-0052 広島県広島市東区光町2-7-1(ハーモニー光町101号室)  
TEL (082)568-7885 FAX (082)568-7886

海外拠点 / アメリカ(カリフォルニア州ティークランビル) タイ(サムトラカン) ドイツ(オパーラト) 中国(杭州・広州) インドネシア(スランパカン) メキシコ(レオン) ベトナム(ホーチミン)

http://www.takamaz.co.jp/

平成30年7月発行  
※このニュースに対するご要望・お問い合わせは編集委員会まで  
TEL(076)274-1408 FAX(076)274-8530 [ティール・ニュース]



NCスクーリングの日程は当社HPでご確認下さい

## 名機 Collection 面取旋盤 T600



当社が製造した初めての工作機械「面取旋盤T600」(通称「メンリー」)。卓上旋盤と普通旋盤との中間需要層に狙いを定め、開発・販売を行いました。当時の近代工業化に向け、設備増強に取り組まれた多くのお客様から圧倒的な支持を得て、シリーズ後継機は月産250台を製造するなど超ロングセラーとなりました。製造業の一時代を支え、当社の礎となった特別な製品です。

TAKAMAZ をまるごと紹介するコミュニティ情報誌

# T-news

[ティール・ニュース]  
a special number



- ◆創業70周年を迎えて
- ◆70周年記念 振り返り座談会
- ◆年表 / TAKAMAZ 70年のあゆみ
- ◆Topics / 出張プライベートショーin広島のご報告  
創業70周年記念プライベートショー 開催
- ◆T-News アンケート

total.147  
Vol.109  
2018 Summer

## 名機 Collection 面取旋盤 T600 (日本)



# 創業70周年を迎えて



当社初の工作機械「面取旋盤T600」

## 100年企業の実現に向け挑戦する気持ちを忘れず

1948年9月に高松喜一が個人創業してから70年。私どもTAKAMAZUは、CNC精密旋盤・工作機械メーカーとして、石川に地歩を固めてまいりました。70年という節目の年を迎えられたのも、当社製品をご愛顧いただいているお客様、ディーラ様、協力企業様をはじめ、当社を支えてくださった皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

この度、2018年4月に22年間勤めた社長職を退き、会長職に就任いたしました。今後も工作機械メーカーという立場から、日本のものづくりを「縁の下の力持ち」として、陰ながら支えていく所存です。

私が社長就任時に目指したことは、会社を大きくすることよりも「石川県内で知らない人がいない会社にする」ということでした。現在、高校や大学を卒業する学生たちが、就職先としてTAKAMAZUを多少なりとも思い浮かべていただけるのであれば、これほど名誉なことはありません。今後は県内のみならず県外からの就職希望者も更に増えてほしいと考えています。

私自身の夢は、当社が100年企業となることです。今後の30年を考えれば、今はそのための布石を打つ時期であると思っています。そのためにも、本業である工作機械を核としながら、食品分野やロボットエンジニアリングをはじめとしたさまざまな分野への進出も忘れてはならないと思います。すぐに成果を挙げることは難しいかもしれませんが、常に挑戦する気持ちは忘れてはならないでしょう。

TAKAMAZUと関わりのある方々が、当社との出会いによって幸せになったと言ってもらえれば、これほどうれしいことはありません。これからもTAKAMAZUとお付き合いいただきますよう、お願い申し上げます。



代表取締役会長  
高松 喜与志

## ものづくり企業として「当たり前を当たり前」

この度、70周年を迎えることができたのは、多くのお客様に支えられ、そしてディーラ様、協力企業様、ならびに当社を支えてくださった皆様のご指導とお力添えのおかげと深く感謝いたしております。

当社は、戦後の混乱期に会社を立ち上げ、1970年代のオイルショックを経験し、幾多の困難を乗り越えて、70周年を迎えることができた。先人たちの血のじむような努力があったことを忘れてはならないと思います。

当社の主力製品である工作機械は、単一工程から多機能まで機械へのニーズが多様化しており、お客様の声により柔軟に対応していく必要があります。それにつれて、技術的な革新はこれまで以上に加速し、問題解決に向けた取り組みも一層進むでしょう。

他方、工作機械を取り巻く環境を見れば、ITやIoT、AI技術が著しく進歩する一方、日本では労働人口が減少の局面にあります。そういった中で、TAKAMAZUがどういった製品を提案できるかが問われており、旋盤メーカーとして変革が必要です。

その変革に対応するためには、社員一丸となってお客様が求めている答えを共に探し、それらを実現するための技術を確認し、お客様とこれまで以上の関係を築いていけるよう、当社製品について積極的に情報発信する努力が必要であると考えます。

また、海外では、新興国における生産設備市場の拡大と、高品質・高効率を求めるニーズが高まっており、大きな商機が見込めます。国ごとにユーザの技術レベルや求められる工作機械の性能が異なることから、現地の声を十分にくみ取っていくことで販売力の強化を図り、当社の輸出比率を高めていく方針です。

私たちは、20年後も、30年後も、ものづくり企業として当たり前のことを当たり前に行っていきます。これまでと同じように、お客様の要望をかなえ、常に新しいTAKAMAZUに進化し続けることで、皆様の期待に応えていきます。これからもTAKAMAZUをどうぞよろしく願いいたします。



代表取締役社長  
高松 宗一郎

## 70周年記念 振り返り座談会

# チャレンジ精神を忘れずに



生産・新分野事業部担当  
取締役  
**前田 充夫**  
(昭和42年入社)

営業・部品事業部担当  
取締役  
**中西 興平**  
(昭和39年入社)

専務取締役  
**溝口 清**  
(昭和43年入社)

社員の成長が、TAKAMAZの成長への原動力です。  
町工場時代から50年以上にわたって  
屋台骨を支えてきた  
取締役の中西興平、取締役の前田充夫、  
専務取締役の溝口清の3氏に当社のあゆみを  
振り返ってもらうとともに、  
今後を担う方々へメッセージを語ってもらいました。

### 50年前から始まった「家族ぐるみ」

**前田** 入社した当初は、初代社長の高松喜一氏の家に工場が隣接していました。喜一氏は職人気質で高い技術を持っていて、1000分の1ミリの誤差を手の感覚だけで判断していました。まさに達人だったと思います。そういった技術を目の前で見られたのは財産です。ただ、当時はマニュアルがありませんでしたので、何でも「見て覚えろ」と教え込まれましたし、機械を調整して間違っていたら大目玉を食らいました。

**溝口** あのころは何でも「見て覚えろ」だったので、経理などをやったことのない私も大変でした。ただ、今と違ってのんびりした雰囲気もあって、大らかな良い時代でした。

**中西** 50年前には会社に寮もありました。高松菊江氏(初代社長のご母堂様)が寮母を務めていて、社員同士は本当に兄弟のように仲がよかったですよ。今でも当社の社風である「家族ぐるみ」の付き合いは、ここから始まったのだと思います。



### お客様の出勤前に到着し「おはようございます」で出迎える

**前田** 実は、私たちには先輩がいませんでした。ですから、自分たちの道は自分たちで切り開いていくしかなかったのです。20歳ごろから国内出張を繰り返し、25歳ごろには海外を飛び回るようになりました。何でも自由にできた反面、自分で勉強もしなければなりません。一番の手本はお客様でした。いろんな会社を参考にしながら、良いところを社内に取り入れていきました。

**中西** 営業の基本は、3代目社長の川江豊吉氏から学びました。訪問営業の際はお客様が出勤する10分前には門の前で待ち構え、出勤された時に「おはようございます」と言って出迎える。そんな会社は他にないので、お客様とはすぐに仲良くなりましたね。こういった積み重ねによって顧客の信頼を勝ち取っていったのです。

**溝口** 自分たちで会社を盛り立ててきたという自負はあります。やらざるを得ない状況もあったんですけどね。順調に成長していた会社に危機が訪れたのが、昭和48年の第一次オイルショックの時です。仕事がないので社員は会社で草むしりをしていました。営業担当者は本当に苦労したと思います。

### 代理店を巻き込んで製品を製作

**前田** 当社が大きく伸びたのは、面取旋盤「T600」の販売でした。当時お客様が独立して鉄工所を立ち上げる時、六尺旋盤を買うと費用がかかるため、当社の面取旋盤を購入した方が多かったのです。当社の名前は知らなくても機械の名前が知れ渡っているほど売れました。この機械のおかげで当社のファンが増えたのです。

**中西** 3代目社長の川江豊吉氏の営業センスには驚くばかりでした。例えば、取り引きしていた全国30社の代理店様の中からエリアごとに5社を選び、開発会議に参加してもらったのです。自分たちの意見が反映された機械だけに売らないわけにはいきません。そのような営業の取り組みから「メリター」をはじめ、「EX-10」「X-10」と次々にヒット商品が生まれました。



**溝口** 聞くところによると、当社の機械は値段が安く、値引きしてほしいと言われることは一切なかったそうで、順調に普及していきました。普通は、親会社が使っている機械を子会社や孫会社が真似て使うようになりますが、当社の場合はその逆です。孫会社や子会社が使っている当社の機械を見た親会社の担当者がそれを気に入り、親会社の工場でも使うようになり、次第に当社の知名度も全国区になっていきました。



### 前例のない注文が生産技術をアップ

**前田** 当社の技術レベルが上がったのは、営業が前例のない注文を受けてきたからです。生産本部はそんな注文を実現するために一つ一つ課題をクリアしていき、お客様の要望に応じていきました。営業は生産を信じてセールスし、生産も営業の挑戦をクリアするという相乗効果が成長を促してきました。

**中西** さらに、約25年前に会社全体が大きく変わりました。きっかけは我々営業が大手自動車メーカー・自動車部品メーカー様との取引を開始したためです。工程管理、スケジュール管理はもちろん、ラインをストップさせないために、あらゆる問題に対応する準備を整えました。体制を見直したことで、会社は大きく伸びたと言えます。

**溝口** このころ、QC手法を各部署の課長が学びました。品質について一から理解し、それまでの考え方を改めた時期です。社員一人ひとりが品質管理を意識することで、組織としての結束力が高まりました。



### これからのTAKAMAZを支える社員へ

**前田** これまで私は、お客様に自分を売り込んできました。お客様の要望以上のことをしなければ信頼は得られません。失敗ばかりでしたが、失敗を恐れなくてください。失敗を乗り越えて次に進むことが大切です。雑草のように踏まれるほど強くなる気持ちが当社を次のステージに引き上げてくれるでしょう。

**中西** やらされる仕事ではなく、夢を描いて実行してほしいと思います。成功するか失敗するかは問題ではありません。考えるよりも動くことが大事です。そのように心掛けていけば、何かが生まれます。仕事を楽しむことを常に忘れないでください。

**溝口** 私たちは何も分からないところから、一生懸命学んでこまできました。ですから、社員の皆さんも自分の道を切り開くために一生懸命勉強してほしいと思います。当社が今後も発展していくために、一人ひとりのスキルアップに期待したいと思います。

# TAKAMAZ 70年のあゆみ



**1948 9月** 高松喜一個人経営にて高松鉄工所設立。当初は、織機メーカーの下請けとして事業開始

**1960 1月** 面取旋盤T600の製造により工作機械へ進出

**1961 7月** 株式会社へ改組、資本金300万円で現会社を設立

**1967 3月** 日本小型工作機械工業会に加入(現:日本精密機械工業会)

**1968 5月** 金沢市松村に本社工場新設移転



**1973 4月** 高松邦 社長に就任

**1973 4月** 東京出張所(現:関東支店)を開設

**1975 7月** 精密油圧自動旋盤ビッグメリターを輸出開始

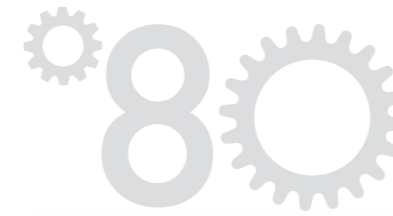
**1976 6月** 大阪出張所(現:大阪支店)を開設

**1976 10月** 国内初CRT付対話型CNC旋盤TCC-8を発売

**1977 7月** 資本金4,500万円に増資

**1977年** 9社合同で、アイ・アール・ジーを設立、固有の技術を持寄り、釣具(リール)の生産に着手。異業種交流の先駆けとなった

**1979 7月** 資本金8,100万円に増資



**1982 4月** TQC導入。子会社ファースト・マシン・ファイナンス設立

**1982 9月** 資本金14,800万円に増資

**1982 9月** 名古屋営業所(現:名古屋支店)を開設

**1983 9月** 米国ペンリール社とリールの委託製造を開始



**1984 8月** CI導入



**1985 8月** 資本金28,020万円に増資

**1985 11月** 松任市(現:白山市)旭丘1丁目8番地旭丘工業団地(現在地)に本社工場を新設移転



**1986 8月** 常陸宮両陛下ご来社



**1987 9月** 世界三大工作機械ショーEMOに出展

**1988 5月** 川江豊吉 社長に就任



**1989 5月** 資本金3,000万円で合弁会社タフコン設立。【T-CON88】によるコンクリートベッド製造開始

**1989 12月** 独EMAG社とコンクリートベッド製造で技術提携

## 1948~1969

## 1970~1979

## 1980~1989

### 1960~

**1960** 面取旋盤 T600

「小さな加工物は小さな旋盤で」との発想から生まれロングセラーとなる。当初はトラックの荷台に積み込み高松喜一自ら大阪で行商したと言う。



面取旋盤の他フライス盤やセーバを製造



**コレットチャック内製化**

面取旋盤はコレット仕様のため当初からコレットチャックの内製化に着手



**手動機**

- ・T600
- ・T650
- ・T700
- ・T800
- ・T900

**コレットチャック**

- ・T-600ストレートコレット
- ・T-650ツパ付
- ・T-650外開型
- ・T-650最大貫通径φ19.5
- ・T-700最大貫通径φ25.4
- ・T-700ツパ付
- ・T-700外開型
- ・T-700補助型
- ・静止押型

### 1970~

**1976** CRT付対話型CNC旋盤 TCC-8

国内初のCRT付CNC旋盤。山洋電機のビデオヘッド加工用に開発されたが当時としては画期的過ぎたため広く普及するには至らなかった



**1976** 面取旋盤 T850

発売から34年間に渡り生産されたロングセラー



**1978** 油圧二次元削い旋盤タックマイスター

イタリア・ディプロマテック社との技術提携で生まれた2軸制御旋盤



**1979** CNC旋盤 EM-2

この機種からCNC旋盤の輸出が始まった



**CNC 旋盤 油圧自動旋盤**

- ・TCC-5,8,10
- ・EM-2
- ・T900HX ・メリター、ビッグメリター
- ・T950 ・タックマイスター
- ・T1000HX-3,4

**手動機**

- ・T800K
- ・T850

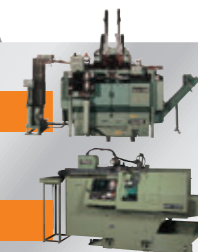
**コレットチャック**

- ・T-800静止型
- ・Wテーパ

### 1980~

**1986** CNC旋盤 TTK-2S

当社初の2スピンドル型量産タイプ



**1986** CNC旋盤 VIK-TURN

当社初のスイス型



**1987** CNC旋盤 EX-10

クシ型三兄弟の登場



**1987** CNC旋盤 HI-TURN, mini-TURN

コンクリートベッド製品の開発に着手。振動減衰性に優れたレジコンクリート【T-CON88】を採用した旋盤(CX-20)を開発。同年ドイツ・EMAG社と技術提携



**1989** CNC旋盤 CX-20

**2Aコレット(貫通径φ43)**



**CNC 旋盤**

- ・EM-1,1A
- ・EM-2A
- ・EM-3,3A,3D,3G
- ・TKK-2S
- ・ATTACK-A,B
- ・VIK-TURN
- ・NEW VIK-TURN
- ・HI-TURN
- ・mini-TURN
- ・PX-20
- ・EX-10,15,20
- ・TOP-TURN
- ・CX-20

**コレットチャック**

- ・2Aコレット貫通径φ43
- ・ATTACK用コレット・A/B/C
- ・押型外開型
- ・ストレート型外開型



1990 1月 技術開発、市場開拓、地域貢献を称え、「(社)中小企業研究センター賞」を受賞

1990 4月 刈谷、厚木営業所開設

1990 8月 資本金 52,058万円に増資

1991 1月 日本工作機械工業会に加入

1991 9月 松任市旭丘2丁目18番地に(現:白山市)第2工場を新設、産機部移転



1991 11月 資本金103,249万円に増資

1995 9月 資本金117,249万円に増資

1996 4月 アメリカシカゴに現地法人 TAKAMATSU MACHINERY USA Inc.設立



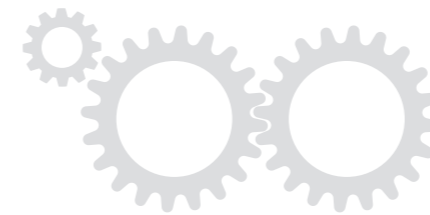
1996 6月 高松喜与志 社長に就任



1996 10月 ドイツ・タイ・インドネシアに 駐在所設立



1997 11月 ISO9001 認証取得



2000 12月 ISO14001 認証取得



2001 2月 日本証券業協会店頭登録市場に上場。 資本金124,740万円に増資



2001 3月 松任市旭丘2丁目18番地に第3工場を新設し、 自動車部品加工開始



2001 10月 JIMTOF当社小間に森喜朗総理が表敬訪問

2003 8月 タイに現地法人TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO.,LTD.設立

2003 9月 独EMAG社との合併会社 (株)タカマツエマグ設立



2003 11月 石川ソフトリサーチパーク内に開発センター新設



2004 12月 友嘉実業股份有限公司(台湾)と、当社製の工作機械の製造を行う合併会社杭州友嘉高松機械有限公司を中国・浙江省に設立



1990~1999

1990~

1992 CNC旋盤 UX-5

連結自動化ラインの ニーズが高まる



1992 CNC旋盤 UX-12

ローダ搭載仕様が総生産の 80%を占める



1992 マシニングセンタ MT-200

当社初のマシニングセンタ



TOC-1・2コレット



1995 CNC旋盤 X-15server



1998 CNC旋盤 T-WAVE



1998 CNC旋盤 XD-5

“一台のスペースで倍の生産性”。 2スピンドル1スライド構造



TPC2-D26コレット



CNC 旋盤

- ・ATTACK-C,S,16
- ・EX-12
- ・NDT-5F(組加工機)
- ・RTF研磨機
- ・TAC-TURN
- ・TAC-TURN H
- ・CX-25
- ・UX-5,12,15,20
- ・アイジョイント加工機
- ・ディスク加工機
- ・CW-2
- ・WX-12S,20
- ・LX-15,20
- ・SC-10
- ・TOPIC-TURN
- ・WD-10,20
- ・XD-5,8,8t,10
- ・XW-100,180
- ・X-10,12,15,18,100
- ・ATTACK-20B,BII
- ・T-WAVE
- ・XY-12 picary
- ・NDT-2

マシニングセンタ

- ・MT-200

コレットチャック

- ・TOC-1・2
- ・TIC2-N1~5
- ・TPC2-D26
- ・TPC3-CS22
- ・TPC3-CS36

2000~2004

2000~

2001 自動車部品生産開始



2002 CNC複合旋盤 XY-120

Y軸制御で複合加工が可能



2002 CNC旋盤 A-WAVE, J-WAVE



2003 IT関連機器 生産開始



2003 ドイツ・EMAG社製品を 取扱開始



2004 スリム旋盤 USL-300

機械幅300mmの超スリムサイズ



CNC 旋盤

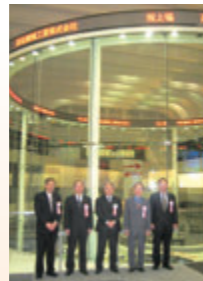
- ・X-10i
- ・XY-120
- ・XY-1000
- ・A-WAVE,J-WAVE
- ・XY-2000 mighty
- ・XD-10i
- ・XW-50,150
- ・SX-07
- ・X-25,150,180,200
- ・USL-300

コレットチャック

- ・TSC-D19



- 2005 4月 東北営業所 開設
- 2006 1月 本社工場増床工事完成
- 2006 4月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場。資本金183,539万円に増資  
それに伴い、ジャスダックへの株式上場を廃止
- 2006 6月 タイ ショールーム完成
- 2007 3月 世界最小実用CNCスリム旋盤・USLシリーズが、日本機械学会「北陸信越支部賞」を受賞
- 2007 7月 中国駐在所開設
- 2008 8月 USLシリーズが、(社)日本機械工業会「優秀省エネルギー会長賞」を受賞
- 2008 9月 FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD.(台湾)との合併会社 エフ・ティ・ジャパン設立



2008 9月 創業60周年を記念してプライベートショーを開催。2日間で、延べ1,000人の来場者で賑いをみせる



2008 10月 コパヤシエムエフジーより同社の金属板金加工事業を譲受け、白山市横江町にて同事業開始



2009 3月 独オペラートに現地法人TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH設立

2009 6月 日刊工業新聞機械デザイン審査員賞をXY-2000PLUSが受賞

2010 11月 中国 杭州に現地法人喜志高松貿易(杭州)有限公司 設立

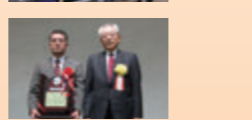


2011 4月 USLシリーズが「日本機械学会2010優秀製品賞」を受賞

2011 7月 製品バリエーション拡充のため、(株)メクトロンと販売提携。ドリリングマシンの販売開始



2011 8月 XC-100/XL-100が、(社)日本機械工業会「優秀省エネルギー会長賞」を受賞



2012 1月 いしかわモノづくり産業遺産に「T650」「メリター」「TCC-8」が認定



2012 2月 新規事業推進室第一弾開発機「ぎんなん鋭割機」(銀太郎)完成

2012 5月 (株)デンソー様より自動車部品加工事業が優秀仕入表彰「品質賞」を受賞



2013 3月 本社増築工事完成(板金製造部 横江工場から移転)



2013 4月 インドネシアに現地法人PT.TAKAMAZ INDONESIA を設立

2013 6月 杭州友嘉高松機械有限公司 新工場移転



2014 7月 XW-130が第44回機械工業デザイン賞「審査委員会特別賞」を受賞

2014 10月 高松宗一郎 副社長就任



2014 12月 本社ショールーム完成

2015 2月 P QUALITY MACHINE PARTS CO.,LTD.(タイ)との合併会社TP MACHINE PARTS CO.,LTD.を設立

2015 10月 アメリカ グリーンビル事務所開設



2017 4月 メキシコとベトナムにそれぞれ現地法人TAKAMAZ MACHINERY MEXICO,S.A.DE C.V.、TAKAMATSU MACHINERY VIETNAM CO.,LTD. を設立



2017 10月 SKV-8が第47回機械工業デザイン賞「審査委員会特別賞」を受賞



2017 10月 灘地康生が「卓越した技能者(現代の名工)」表彰を受賞



2018 4月 高松喜与志 会長就任 高松宗一郎 社長就任

2005~

2005~

- 2005 CNC旋盤 X-100
- 2006 スリム旋盤 USL-480
- 2008 CNC複合旋盤 XY-2000PLUS  
複合加工の上位機種  
マシンカラーリニューアル「アースカラー」でイメージ一新
- 2008 台湾Feeler製マシニングセンタ取扱開始
- 2009 CNC旋盤 XC-100

CNC 旋盤

- ・X-100,120,150
- ・XW-30,40,80,80M
- ・TOP-TURN II
- ・XC-100,150
- ・USL-480
- ・XY-2000PLUS

コレットチャック

- ・TPC3-CS43

2010~

2010~

- 2011 (株)メクトロン製品を取扱開始
- 2012 CNC複合旋盤 XY-120 PLUS
- 2013 CNC旋盤 XW-130
- 2013 CNC旋盤 GSL-10
- 2013 スリム旋盤 XW-30 PLUS
- 2015 スカイビング加工機 SKV-8
- 2015 CNC旋盤 XW-60/60M  
世界最速クラス  
高速ローダ
- 2017 CNC旋盤 XTT-500/500M
- 2018 CNC複合旋盤 XYT-51
- 2018 CNC旋盤 XWT-10

CNC 旋盤

- ・GSL-10,15
- ・XL-100,150,200
- ・XW-130,200
- ・XD-5PLUS,8(T)PLUS
- ・XY-120PLUS
- ・XW-30 PLUS
- ・XW-200
- ・XW-130M
- ・XW-60/60M
- ・XG-4/J-WAVE PLUS
- ・SKV-8
- ・GSL-15 PLUS
- ・XTT-500/500M
- ・GSL-10H
- ・XYT-51
- ・XWT-10

コレットチャック

- ・SSW-52
- ・TPC2-D150
- ・TPC3-CS68